

## 市民意見募集(パブリックコメント)結果

「和歌山市中央卸売市場活性化ビジョン」に対するご意見を募集した結果、2件のご意見をいただきましたので、次のとおり公表します。

### ■募集案件の概要

募集案件	和歌山市中央卸売市場活性化ビジョン (案)
受付期間	令和7年12月20日～令和8年1月19日
ご意見の件数	1名・2件

### ■ご意見の概要と市の考え方

No	ご意見の概要	市の考え方
1	<p>■一般利用について</p> <p>市場の一般開放に関して、一般市民として「自由に利用してよい場所なのかどうか」が分かりづらい状況にあるため、市の公式ウェブサイトにおいて一般利用が可能な日時や条件等を明確に示していただきたいと考えます。</p> <p>また常時利用が可能であるのであれば、敷地内外に案内看板等を設置し、一般利用が可能であることが分かるようにする取組も有効だと思われます。</p> <p>さらに、現状では「買い物をする方(買出し人)のみ入場が可能」とされていますが、市場の賑わい創出や市民理解の促進という観点からも、この点について見直しをご検討いただければ幸いです。</p>	<p>当市場は、卸売市場という特性上、事業を行う方を対象とした卸売施設であることから、令和2年にオープンした総合食品センター「わかやままるしえ」を除いて、場内事業者においては、一般の方への小売業務に関して、原則的に卸売業務の終了後に対応しているところです。このため、事業者毎に営業時間や販売条件等異なり、取扱品目も日々変化します。</p> <p>また、年末年始の買い出しに関するお知らせとして、ホームページ上に「買い物をする方(買出し人)のみ入場が可能」と記載させていただいていたのは、市場内の安全管理を考慮し、買い物以外の見学や観光を目的とする方の入場を制限させていただいているところですので、ご理解ください。</p> <p>このような実状ではありますが、ご指摘のように、一般の方に自由に買い物をしていただくため、「市場まつり」などイベントの開催や定期的な一般開放日を設けることなど検討してまいります。</p>

2	<p>■取り扱い流通量について</p> <p>「和歌山市中央卸売市場活性化ビジョン」の要点の「事業者の声」に、「物量が少なく、高品質の商品は大都市に流れていく」との記述がありますが、全国流通の効率性を考慮すると都市部市場へ直接搬出する方が利があるため、やむを得ない状況にあると考えます。</p> <p>一次商品の取り扱い流通量を増加させるのであれば、水産加工等の食品加工施設を誘致・市場に隣接して整備し、二次製品を大規模に生産できる体制を構築することで、取り扱い流通量の増加を図る余地があるのではないかと考えます。</p>	<p>市場における取扱量の減少や高品質な商品を大都市の市場に出荷される生産者がいる傾向は、大きな課題と捉えています。</p> <p>ご提案いただいている取組を含め、当市場としても、生産者と一層の信頼関係を築くとともに、消費者ニーズを把握しながら、さらなる販路拡大を図り、市場の魅力を高めるよう努めてまいります。</p>
---	---	---